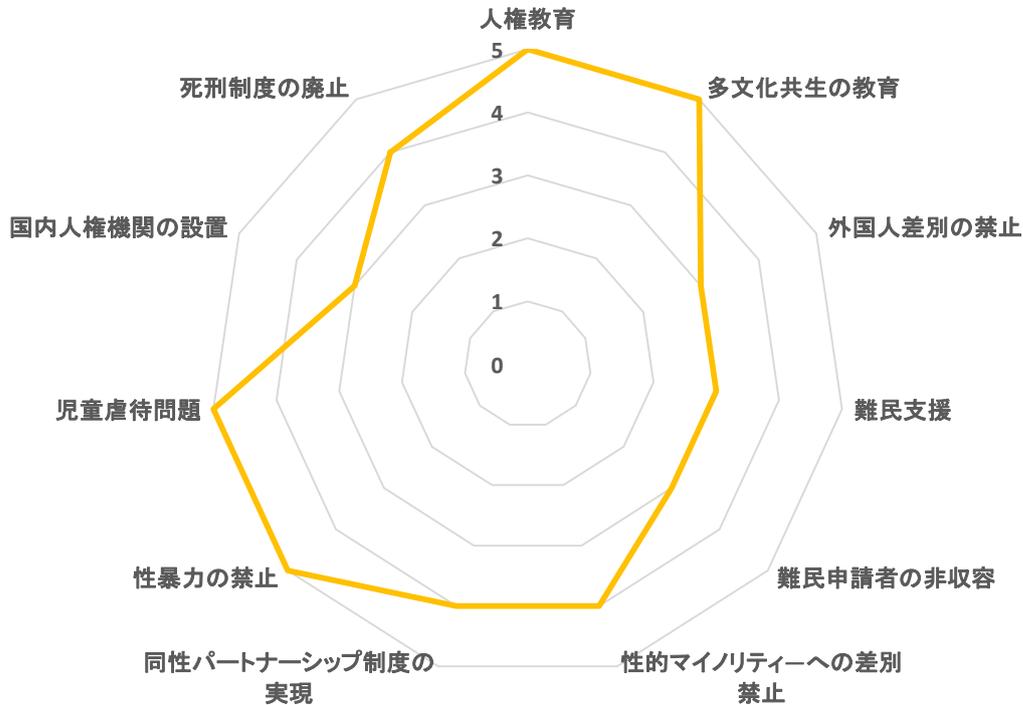


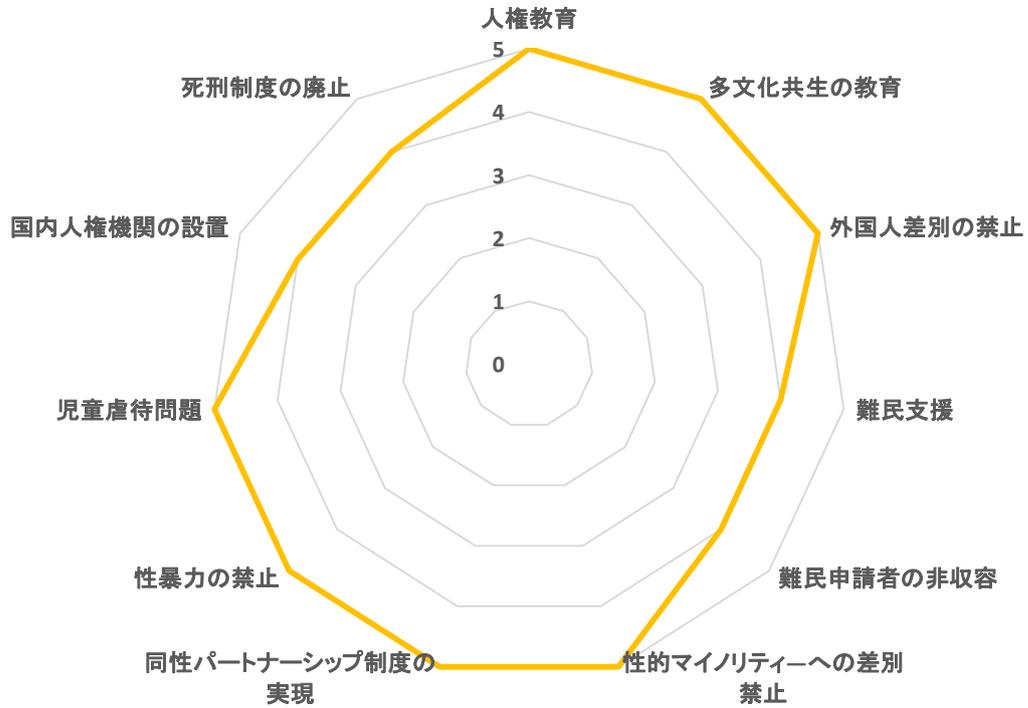
矢倉 克夫(公明)



特に取り組みたい人権課題

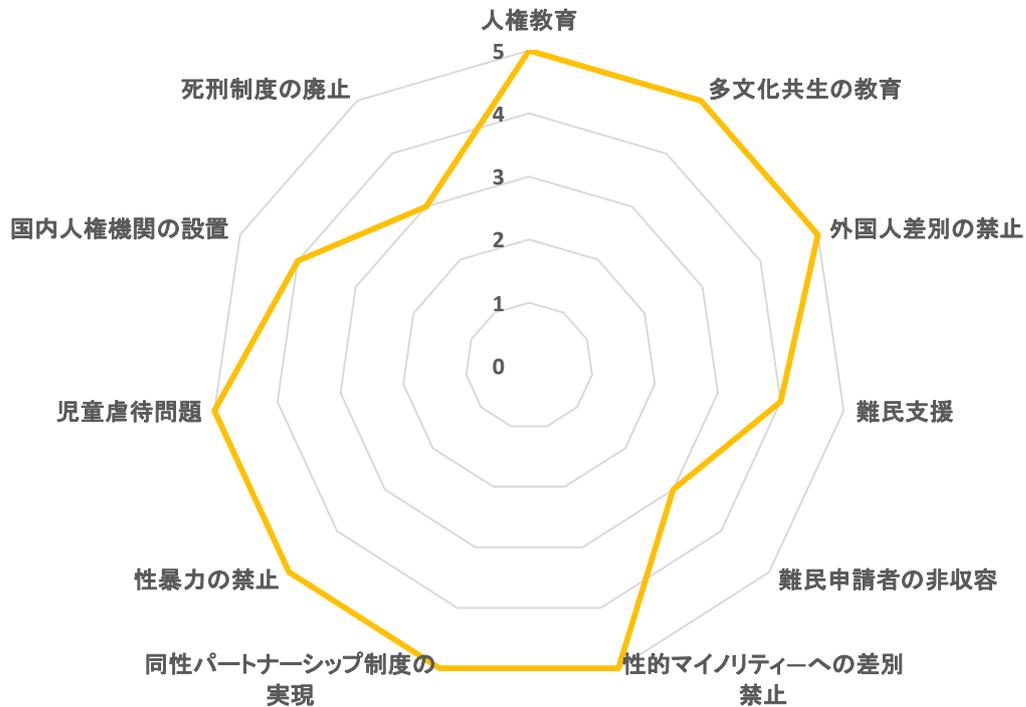
2015年8月、私は私とは与党の議員で初めて参議院法務委で、「ヘイトスピーチ解消法を議員立法で作るべき」と訴え、困難な論点を克服して法案をまとめ、私が公明党唯一の発議者に提出した。この法律案は、罰則付き禁止法ではなく、「ヘイトスピーチはいけない」と訴える「理念法」であったため、実効性がないと批判を受けた。しかしわたしは、「刑罰で縛らなければヘイトスピーチがなくなる」という美重な社会ではなく、皆が、「ヘイトスピーチをなくそう」と自発的に声をあげ、行動する社会をつくることが重要と一貫して訴え、2016年5月に成立にこぎつけた。それからわずか一週間後の5月31日、川崎市は公園でのヘイトデモを「不許可」とし、その2日後には、ターゲットとされていた地域の半径500メートル以内でデモを禁止する仮処分決定を裁判所が出した。この法律ができた効果で地方自治体や司法の判断で、「ヘイトスピーチはダメだ」と言えるようになった。たとえ罰則がない理念法であっても、法律ができるだけで役所の対処は著しく変わる。人々の中に眠っている良心を呼び起こし、自発的に差別をなくして大衆運動を起こす。ヘイトスピーチ解消法がその起爆剤となった。今後とも、ヘイトスピーチや人種差別を根絶するため、そして平和な多文化共生社会をつくるために尽力したい。

熊谷 裕人(立憲)



特に取り組みたい人権課題

穴戸 千絵(国民)



特に取り組みたい人権課題

「人権問題の設置」

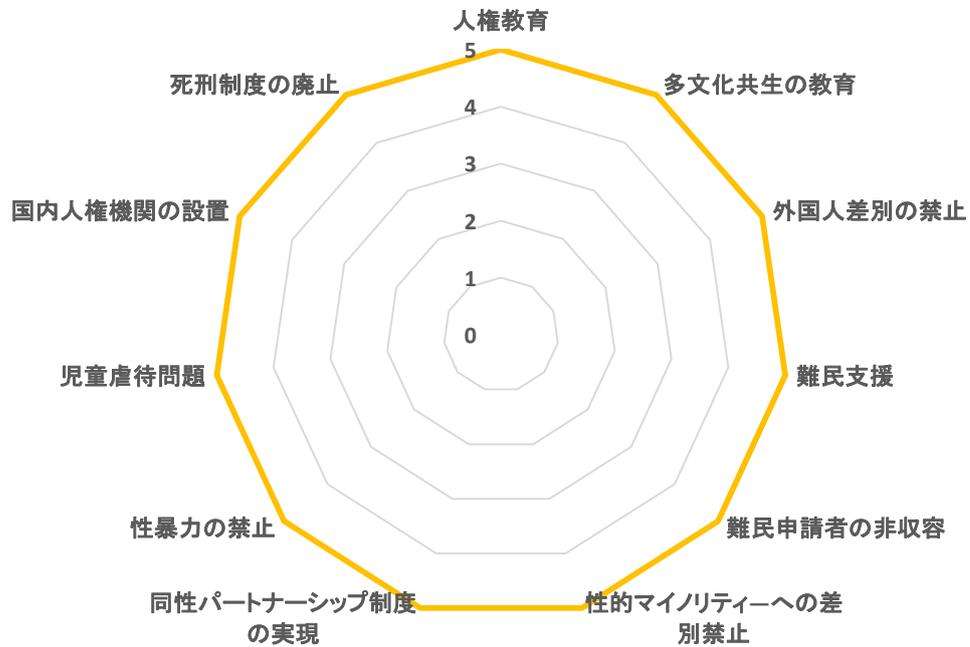
・一人一人の基本的な人権をさらに尊重する社会、多様な個性や価値観が認められる人権兼尊重社会を実現するために、人権を守る「人権委員会」を設置する法律を作ります。

「差別解消」

・女性差別撤廃条約選択議定書を推進します

・嫡出でない子(結婚していない男女間に生まれた子)の権利の保護を図ることを目的として、出生届書の記載事項から嫡出である子又は嫡出でない子の別を記載する欄を削除する戸籍法改正を目指します

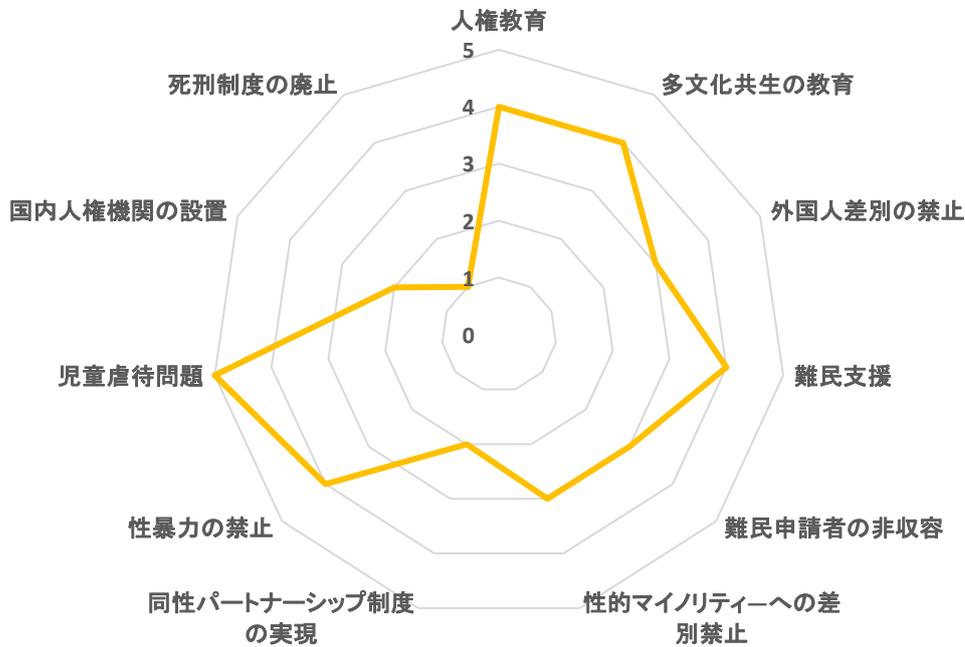
伊藤 岳(共産)



特に取り組みたい人権課題

人種差別、民族差別を明確にした法律の制定を目指して頑張る決意です。

小島 一郎(幸福)



特に取り組みたい人権課題

中国では、ウイグルやチベット、内モンゴルなどの自治区において、激しい弾圧や人権侵害が行われています。日本は自由・民主・信仰といった価値観を守る砦となって、中国国内の人権弾圧の実態を明らかにし、世界に全体主義国家の危険性について警鐘を鳴らす必要があると思います。